



本郷台中だより

～学ぶ楽しさを知り、夢や希望を育む学校～

令和5年度第6号

令和5年7月19日

文京区立本郷台中学校

校長 江熊 秀昭

行事から何を学ぶか 校長 江熊 秀昭

7月10日(月)～12日(水)に1年生は八ヶ岳移動教室へ行ってきました。コロナ感染症の行動規制解除後の初めての校外学習で、宿舍や見学場所での制限はありませんでした。

天候にも恵まれ、予定通りに日程を終えることが出来ました。初日の宝刀づくり、清泉寮のソフトクリーム、キャンプファイヤー。2日目の北八ヶ岳ロープウェイ山頂駅から北横だけ山頂への3時間半の登山、陶芸体験。3日目の群馬県立自然史博物館見学。大きく体調を崩す生徒もなく、全員が寝食を共にし、同じ体験をしたことはとても素晴らしいことです。

初日にできなかった5分前行動が少しずつ改善され、集合しても静かにならなかったのが班長を中心に周囲へ注意を呼びかける声上がるようになど成長の跡が見られたのは大きな収穫でした。

しかし、残念ながら登山中に石を投げる、食事のマナー、公共の場で大声や奇声を発する、言葉遣い、次の行動への準備など、まだまだ学び、身につけることは多くあります。注意されたことの意味を『よく考え』、そこから今後の対応を『学び』、二度と注意されない『行動』ができる生徒こそが本郷台中学校の求める生徒像です。

学校は「失敗」のできる場所です。失敗から『自ら学び、考え、行動する生徒』という本校の教育目標を実践して下さい。今後の成長が大いに楽しみな3日間でした。





P T Aスポーツフェスティバル

7月8日(土) スポーツセンター

生徒、保護者、教員の協力でドッジビーで準優勝！
御協力ありがとうございました。



2年B組のエアコンの効きが不調で、学習環境が悪化しました。役所も緊急に予算を都合してくれましたが、夏休み中の工事となります。学校の一大事とP T Aや学校運営連絡協議会、青少年健全育成会の方が、移動式のクーラーやサーキュレーターを直ぐに手配してくれました。地域に支えられている生徒は本当にしあわせです。ありがとうございました